

## 審判用語（コール）について

- プレーヤーの発表と試合を開始するとき  
「オンマイライト（ ）さん（所属）、オンマイレフト（ ）さん（所属）」  
（言いながら、右・左を指す）  
（ダブルス）（ ）さん、トゥー・サーブ・トゥー（ ）さん、  
（シングルス）（ ）さん、トゥー・サーブ」「ラブ・オール・プレー」
- サービングサイドが勝ったとき…「(スコア)」  
☆ スコアのコールは、必ずサービングサイドの方から先にコールします。
- レシービングサイドが勝ったとき…「サービスオーバー、(スコア)」  
11点目が入った時点でストップウォッチを押す。「11－（ ）、インターバル」（40秒経過したら）「第〇コート20秒」とコールし、そのコールを繰り返す。インターバル後、ゲームを再開するときは、スコアの後に、「プレー」とコールする。
- どちらかのサイドがあと1点取ればそのゲームが終わるとき  
どちらかが20点になったら「20ゲームポイント（レシービングサイドの得点）」とコールする。※スコアが20－20になったときは「20オール」とコールし、次の欄に斜め線を入れる。2点差がついた時点で「ゲーム」となる。
- ゲームが終わったとき  
21点目が入ったら「ゲーム」（すぐ時間を計る）「ファーストゲーム・ワン・バイ（ ）さん（所属）、（ ）21－（ ）」「インターバル」「チェンジ・エンズ」  
（1分40秒経過したら）「第〇コート20秒」とコールし、そのコールを繰り返す。
- 第2ゲームを始めるとき  
「セカンドゲーム、ラブオールプレイ」  
ゲームカウントが1対1になるとき→「ゲーム」（すぐ時間を計る）「セカンドゲーム・ワン・バイ（ ）さん（所属）、21－（ ）」「ワンゲーム・オール」「インターバル」「チェンジ・エンズ」（1分40秒経過したら）「第〇コート20秒」とコールし、そのコールを繰り返す。
- 第3ゲームを始めるとき  
「ファイナルゲーム、ラブオールプレイ」

ファイナルゲームではどちらかのサイドが11点を取ったら「インターバル」「チェンジ・エンズ」とコールする。

- サービングサイドがあと1点取ればその試合が終わるとき  
「(サービングサイドの得点) マッチポイント、(レシービングサイドの得点)」セテイングが続き、29点オールになったら「29ゲーム（マッチ）ポイントオール」とコールし、30点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となる。
- 試合が終わったとき  
勝敗が決まるとき→「21マッチポイント・（ ）」「ゲーム」「マッチ・ワンバイ・（ ）さん（所属）」スコア（例えば 21－18, 17－21, 21－10）をコールして勝者サインをしてもらう。
- フォルトが起きたとき…「フォルト」
- ノーカウントの状態が起きたとき…「レット」
- エンドを交代させるとき…「チェンジエンズ」
- 主審が、線審が明らかに間違った判定をしたと判断したとき
  - ① インであるのに、アウトと判定した…「コレクション イン」
  - ② アウトであるのに、インと判定した…「コレクション アウト」

### 【間違えやすいコール】

〈正〉	〈誤〉
セカンドサーバー	セカンドサービス
チェンジエンズ	チェンジコート
ゲームオール	セットオール
サービスオーバー	チェンジサーブ
第〇ゲーム	第〇セット
イン	インサイド
アウト	アウトサイド
レット	ノーカウント
ゲーム	ゲームオーバー